

日本青年団 新聞

11月11日発行

2018年
第103巻 6号

編集・発行 日本青年団協議会

〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町4-1

日本青年館5階

TEL 03-6452-9025

大正5年2月10日第三種郵便物認可

振替口座 00140-6-37229

年間2,200円 1部400円 (送料・消費税込)

Friendship
&
Harmony

～友愛と共励～



青年たちが紡ぐ 平成最後の青春

木々が美しく色づいた神宮外苑の秋は、全国から意気洋洋と集う青年たちを迎える季節でもある。11月9日～12日に開かれる第67回全国青年大会の開会式が、大会初日の9日、日本青年館ホールで華々しく開催された。

所狭しとホールの舞台上に翻る都道府県選手団の旗。佐久間祥平日青協副会長を先頭に、次々と入場してくる選手団が披露する、郷土色溢れるアピールは、全国の若者が地元を背負って舞台上立つ本大会の象徴ともなっている。また今年も皇室から、参加者とも同世代でもある瑠子女王殿下がお出ましになった。競技者として凛とした表情を見せながらも、地域の未来を築く青年層への期待と共感を込めた、暖かいお言葉を頂戴した。

今回の大会は、(二財)全日本剣道連盟と剣道競技を共催する初めての大会である。開会式には初めて今大会に参加した剣道選手姿も数多くみられ、大会の裾野がよ

り広がったことが分かる。新たな仲間を迎えた大会の、大いなる門出となった。

開会式の後は、「オグシオ」で北京オリンピックの時に話題になった、バドミントン元日本代表の小椋久美子さんがトークショーを行った。世界の舞台上に立つ同世代の青年の一人としてお話し、会場は大盛況であった。

平成最後の秋、4日間にわたる熱い戦いがいま、始まった。

